

福島第一原子力発電所の事故以来、日本茶に含まれる放射性物質について報道される日が続いてい  
ます。  
市では、静岡牧之原茶の安全性を証明するための取り組みを行っています。  
どうぞ皆さん、安心して静岡牧之原茶を飲んでください。 問い合わせ お茶振興課 原木 〆(53) 2621

安全性確認のため市の独自調査を実施

5月11日、福島第一原発事故の影響により神奈川県南足柄市の新茶から国の暫定規制値を超える放射性物質が検出されたことを受け、市では緊急の独自調査を実施しました。その結果、市内の生葉および飲用茶(急須で入れたお茶)から放射性ヨウ素は検出されませんでした。また、放射性セシウムは1キログラム当たり22〜48ベクレルで、飲食物摂取制限に関する指標(暫定規制値および準用値)を大幅に下回り、健康への影響についてはまったく問題ないことが確認されました。

独自調査による牧之原市内の茶の放射能検査結果

・市茶業振興協議会とハイナン農業協同組合が5月13日、独自に民間検査機関に委託し、実施しました。

●生葉 (5月13日採取) [単位:Bq(ベクレル)/kg]

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	合計値	暫定規制値
相良A	検出されず	15	33	48	500
榛原A		14	18	32	500
榛原B		12	10	22	500

●飲用茶 (仕上茶) [単位:Bq(ベクレル)/kg]

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	合計値	暫定規制値
4月27日	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	200
5月1日					200
5月5日					200

静岡県が実施した牧之原市内の茶の放射能調査結果

●二番茶放射能測定結果 [単位:Bq(ベクレル)/kg]

採取日	種別	セシウム	ヨウ素	暫定規制値
6月9日	荒茶	138	検出されず	500Bq/kg (セシウム)
6月15日	生葉	52	検出されず	500Bq/kg (セシウム)

●一番茶放射能測定結果 [単位:Bq(ベクレル)/kg]

採取日	種別	セシウム	ヨウ素	暫定規制値
5月6日	生葉	90.1	0.85	500Bq/kg (セシウム)
5月12日	飲用茶	6.88	検出されず	200Bq/kg (セシウム)
6月6日	製茶	272	検出されず	500Bq/kg (セシウム)

# 静岡牧之原茶は



調査の様子

# 安全です!



「安全・安心」の静岡牧之原茶

さらに牧之原茶の安全性を確保するために

その後の県の数回にわたる調査の結果はいずれも暫定規制値を大幅に下回り、牧之原茶は安全であることが確認されました。

市では、ホームページにおいて市長名で安全性についてお知らせしました。

ところが、6月18日にフランスで静岡産の玄米茶からEU(欧州連合)の基準値を超える放射性セシウムが検出され、20日にはそれが御前崎の業者から輸出されたとの報道がありました。(その後、原料が清水区庵原地区で生産された荒茶であることが判明)

市では、風評被害を払しょくするため21日に市内茶商の代表などによる対策会議を開きました。会議では「お茶を販売する側では放射能に関する安全証明書などが必要」「消費者に信頼してもらえよう具体的な対応を」「風評被害に対しては地域が一体となり取り組むべき」などの意見が出されました。

市では、風評被害を払しょくするため21日に市内茶商の

国へ要望書を提出します

荒茶も放射性物質の検査対象とすることや生葉と同じ暫定規制値を適用するという今回の政府の方針は、あまりにも科学的根拠が不十分であり茶産地は大変な混乱をきたしています。

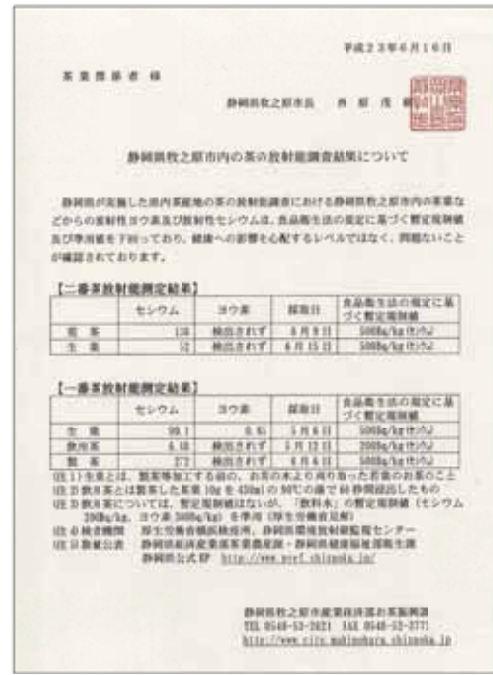
そこで、①食品健康影響評価を踏まえ、科学的根拠に基づく新たな茶の規制値を設定すること②茶の規制値を超えるものについては健康に影響を与えるものではないことを広報すること、などについて全国の茶園を有する市町村長の署名を添えて島田市長との連名で、厚生労働大臣に要望することにしました。

静岡牧之原茶を消費者に安心して飲んでもらえるよう、市ではこれからも全力で取り組んでいきます。

荒茶工場の放射能検査費用の一部を助成

これを受けて、市では静岡牧之原茶の安全性を高め、消費者の皆さまに安心して購入していただくため、各荒茶工場が放射能調査(自主検査)を実施する場合の検査費用の一部を助成する方針を決定しました。

対象は平成23年産の二番茶荒茶の本茶。助成金額は検査費用の2分の1で、1万円を上限として計画しています。



上の書類は、市のホームページから印刷することができます

7/19 6/24 6/22 6/21 6/18 6/16 6/15 6/14 6/13 6/10 6/9 6/7 6/6 6/3 6/2 5/19 5/18 5/17 5/16 5/13~14 5/12 5/11

茶の放射性物質についての経緯  
 神奈川県南足柄市の生茶から暫定規制値を超える放射性セシウムを検出  
 5/11 緊急対策会議  
 市、緊急対策会議の開催、独自調査実施を決定  
 県による一番茶(生葉・飲用茶)の調査結果公表(13地点)  
 厚生労働省が県に荒茶での検査を要請  
 県庁にて知事による新茶安全性宣言  
 県による一番茶(生葉)の調査で牧之原分の結果公表  
 市、独自調査の結果公表  
 政府、荒茶も検査対象とすることを決定  
 知事は荒茶を検査対象とすることに反発  
 知事、荒茶検査の実施を受け入れ  
 県、主要19産地の一番茶製茶、二番茶荒茶検査実施を決定  
 平成23年度牧之原市茶業振興協議会を開催  
 県による一番茶(製茶)の調査結果の公表(牧之原市を含む8地点分)  
 J A 二番茶緊急対策会議  
 農科地区の一番茶(荒茶) 10工場分の調査結果の公表(13日公表の10工場と合わせて20工場分)  
 県による二番茶(生茶・荒茶)の4地点調査結果を公表  
 県による二番茶(生茶・荒茶)の5地点調査結果を公表(牧之原市分含む)  
 フランスで静岡産の茶からEUの基準値を超える放射性セシウムを検出  
 フランスで放射性セシウムが検出された茶は清水区庵原地区産の荒茶であることが判明  
 市、2回目の緊急対策会議を開催  
 県、御前崎の業者の製茶(清水区庵原地区産)を検査、暫定規制値を上回る981ベクレルの放射性セシウムを検出  
 市、市内各荒茶工場が実施する放射能調査(自主検査)検査費用の一部助成を決定・発表。近隣市町でも同様の動きが広がる  
 島田市長と連名で厚生労働大臣あて要望書を提出予定